

日ごろからこんな取り組みをしています

下水道管の改築・修繕

市内の下水道管は、敷設されてから50年以上経過したものが多くあります。

これらを含めて、古くなった下水道施設を調査し、計画的に改築・修繕事業を進めています。



簡易調査

- ・管口カメラ調査
- ・マンホール目視調査

詳細調査

- ・テレビカメラ調査
- ・潜行目視調査

改築・修繕事業

- ・管更生
- ・管の敷設替え

計画策定

- ・対象路線の抽出



下水道管にひび割れ発見！



古い管の中に新しい管を通して修繕します



陥没事故のようす。こうした事故を起こさないためにも、日頃からの点検・調査は欠かせません。



路面下空洞調査事業

路面下空洞探査車によるレーダ探査により異常が検出された場合、原因調査を行い、原因が下水道管であれば上下水道局が修繕などを行います。



探査車

路面下空洞探査車によるレーダ探査

道路の下の空洞をいち早く探知

テレビカメラで詳細に調査

地上から 管口カメラをマンホール内に挿入し、管路内の状況を確認

下水道取付管の更新

下水道管に起因する道路陥没の多くは、50年以上前に設置された旧規格の陶器製取付管（陶管）が原因です。市では10か年計画で、テレビカメラ調査により陥没の原因となる老朽化した陶管を、優先的に塩化ビニル管に取り替えています。



下水道管の巡視点検

市内にある下水道本管の総延長は約1,070km。これを20ブロックに分け、毎年2ブロック・約100kmずつ巡視点検します。腐食するおそれが大きい下水道管については5年に1回点検します。マンホール蓋とその周辺、マンホール内部及び管内の状況を確認し、異常を早期に発見し、修繕を実施しています。



マンホール蓋及びその周辺状況、マンホール内部を目視により確認

古い下水道取付管を優先的に更新

これらの取り組みは、みなさまからの下水道使用料をもとにやりくりしているよ。



大規模な道路陥没を防ぐため

マンホール蓋の更新

市内にあるマンホール蓋は約43,800枚。

巡視点検時や市民の皆様からの相談などで「音鳴り」や「がたつき」などの不具合が確認された場合のほか、道路舗装を伴う工事の際にも取り替え対象の蓋があれば、耐スリップ・浮上防止ロック付きの蓋に交換します。その数は、年間約700枚になります。

下水道管内の清掃

巡視点検で管内の滞留を確認した場合、高圧洗浄を実施します。

また、市内には河川などの下をくぐる「伏せ越し」構造が14か所あり、特に土砂などがたまりやすいため、5年に1回高圧洗浄をしています。

河川

泥溜めにたまった土砂などを高圧洗浄

伏せ越し

泥溜め